



# 東京大学 大学院教育学研究科 教育学部 案内

Graduate School of Education  
Faculty of Education  
The University of Tokyo  
Guidebook

## 2026





# 教育学 × 教育人

新しい価値を創出する



## contents

01. 研究科長・学部長あいさつ
02. 研究科・学部の紹介
04. 11の学びについて
06. 卒業生に訊く
07. 学部5コース

08. 教育学コース
09. 比較教育社会学コース
10. 教育実践・政策学コース
11. 教育心理学コース
12. 身体教育学コース



# 新しい価値を 創出する 教育学

教育学研究科長・教育学部長

勝野 正章

## 研究科長・学部長あいさつ

東京大学教育学研究科・教育学部における学びや研究の理念を表現する言葉に「インクルーシブな知性」があります。近代の学問は自然や社会、そして人間を緻密に分析することで飛躍的な発展を遂げてきました。そのような分析的な知は、技術、経済、産業、福祉、医療など多方面にわたり大きな便益を人間にもたらしましたが、その一方で、地球環境の破壊や、人間や社会の恣意的な分類と序列化、さらには異なる価値観や意見、生き方をする他者の排除を結果としてもたらすこともありました。残念ながら教育学も、分断・排除の知として機能した面がないとは言えません。

「インクルーシブな知性」とは、知が持つこうした排除性を反省的に捉え直し、乗り越えようとする、「結びあう知性」であると言えます。今日

ますます深刻の度を深めている社会の分断や差別や排除への感受性と、それらの背景・原因やメカニズムに関する深い理解は現代社会における必須の教養であると言えます。教育学研究科・学部は、そのような教養としての「インクルーシブな知性」の育成を共通基盤としながら、教育の歴史・思想、人間の心と体の発達、学習と発達を支える実践・援助、学習と教育の社会システムなどへの多様な関心と進路希望に応えることのできる専門的かつ学際的な研究と教育を行い、多様性と包摂性が尊重される共生社会の実現を目指しています。

私たちは、教育と教育学の新しい地平をともに切り拓いてゆく仲間として、皆さんの教育学研究科・学部への入進学を心から楽しみにしています。

- 13. 研究科10コース
- 14. 教育学コース
- 15. 比較教育社会学コース
- 16. 生涯学習基盤経営コース
- 17. 大学経営・政策コース

- 18. 教育心理学コース
- 19. 臨床心理学コース
- 20. 身体教育学コース
- 21. 教職開発コース
- 22. 教育内容開発コース

- 23. 学校開発政策コース
- 24. 関連施設紹介

# 教育学研究科 教育学部の沿革

東京大学教育学部は1949年5月、新制東京大学の創設に伴い、旧制の文学部にあった「教育学科」5講座を分離独立する形で発足しました。1947年教育基本法、学校教育法が制定され、「6-3-3制」の学校体系が発足し、全国に教育学部、学芸学部が発足しました。従来の師範学校制度を改め、国立大学に教育学部を設置することが望ましいという戦後教育改革の方針のもとに創設されました。本学部はこうした改革の要請にこたえ①教育に関する専門的研究を行い、併せて、専門研究者や教職教育担当者の養成を行う、②教育に関する教養と識見を持つ教育行政官・社会教育指導者・学校管理者などの養成を行う、③新制東京大学における中等学校教員養成に責任をもつ、という3つの課題を担って発足しました。これら3つの課題は、大学院重点化が実現した今日においても、基本的には変わっていません。教育学部創設時は、小学科制をとって教育学科、教育心理学科、学校教育学科、教育行政学科、体育学科の5学科で出発しました。その後様々な変遷を経て、現在は、右図にあるように、学部は1学科3専修5コース、大学院は2専攻3専修10コースで組織されています。

詳しくはこちら▶



## 組織について

### 教育学部



学士課程の学生の帰属組織

総合教育科学科

教育学専修

● 教育学コース P08

教育社会科学専修

● 比較教育社会学コース P09

● 教育実践・政策学コース P10

心身発達科学専修

● 教育心理学コース P11

● 身体教育学コース P12

教育学研究科・教育学部の組織は、下図のようになっています(学部および大学院ともに2024年度以降)。コースが細分化されていた時代もありましたが、それらのコースを教育学・教育社会科学・心身発達科学という3専修へと区分し、現在では学部および大学院の教育はこれらの専修、および学校教育高度化専攻を基礎的な単位として体系的に行われています。

詳しくはこちら▶



## 教育学研究科



教員の帰属組織



大学院生の帰属組織

### 総合教育科学専攻

教育学

教育学専修

● 教育学コース P14

比較教育社会学

教育社会科学専修

● 比較教育社会学コース P15

生涯学習基盤経営

● 生涯学習基盤経営コース P16

大学経営・政策

● 大学経営・政策コース P17

教育心理学

心身発達科学専修

● 教育心理学コース P18

臨床心理学

● 臨床心理学コース P19

身体教育学

● 身体教育学コース P20

### 学校教育高度化専攻

教職開発

● 教職開発コース P21

教育内容開発

● 教育内容開発コース P22

学校開発政策

● 学校開発政策コース P23

# 11の学びについて

## ～コース代表者からのメッセージ～

詳しくはこちら▶



**山名 淳** 教授  
【やまな じゅん】  
〈教育哲学〉

よりよい社会と人間の関係を見据えつつ、  
思想と歴史に根ざして教育の核心に迫ります。

### 教育学コース

教育の現実問題を意識しながら、人間と社会・文化の関わりをその根幹から捉えます。歴史学、哲学、人間学、臨床学等に拠つつ、過去と現在、人間と文化、政治と倫理、理論と実践、学術の知と制度の間を深く掘り下げる研究を行います。



**本田 由紀** 教授  
【ほんだ ゆき】  
〈教育社会学〉

社会学と比較教育学を駆使し、量的・  
質的データを用いて教育現象を研究します。

### 比較教育社会学コース

比較教育社会学コースは、教育社会学と比較教育学に基づき、広義の教育現象に関する実証的・理論的研究に取り組んでいます。調査や分析の方法論の教育に力を入れており、教育格差や国際教育など幅広いテーマを学ぶことができます。



**影浦 峯** 教授  
【かげうら しょう】  
〈図書館情報学〉

生涯にわたる学習とそれを可能にする基盤の  
理論から実践までを追求します。

### 生涯学習基盤経営コース

学校教育の後や外で人が営む活動を学習の観点から捉え、生涯にわたる学習活動とそれを支える組織・制度・環境・技術などの基盤を研究するコースです。「これも学習なのか!」「学習とはこういうことだったのか!」を学校の枠を超えて考えたい方へ。



**北村 友人** 教授  
【きたむら ともひと】  
〈人文社会教育〉

教育、現場主義。教育という現象・作用の本質を  
「現場」や「制度・政策」から捉えます。

### 教育実践・政策学コース

学校はもちろん、教育法や教育制度、博物館や図書館、さらには地域における市民の学びなども含めた多様な教育の「現場」や「制度・政策」について、講義だけでなく演習、実習などの授業を通じて、その対象に即した現実的なアプローチから迫っていきます。



**両角 亜希子** 教授  
【もちずみ あきこ】  
〈大学経営論〉

大学の経営および高等教育政策について理論的・  
実践的な教育研究を行っています。

### 大学経営・政策コース

本コースは、大学・高等教育の管理者や政策担当者、この分野の研究者と将来のリーダーを育成するために、2005年に開設されました。学生の過半数が社会人であり、夜間および土曜日の履修だけで学位が取得できるよう配慮しており、多様な学生が学んでいます。



**清河 幸子** 准教授  
[きよかわ さちこ]  
〈教授・学習心理学〉

心理学的手法と知見に基づく  
教育の探究と実践に取り組みます。

教育心理学コース

心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者および実践者の育成を目指しています。教授・学習心理学、発達心理学、教育認知科学、教育情報科学の4領域を専門とする教員が指導にあたっています。



**高橋 美保** 教授  
[たかはし みほ]  
〈臨床心理システム論〉

科学者-実践者モデルに基づいて、これからの  
臨床心理学を牽引するリーダーを育成します。

臨床心理学コース

新たな時代を切り拓く臨床心理学の知の専門家を育成するために、自らの文化を尊重するローカルな視点と同時に、多様性に拓かれたマインドセットを身につけた人材を育成することを目指します。



**東郷 史治** 教授  
[とうごう ふみはる]  
〈教育生理学〉

身体、心、脳の働きを解き明かします。

身体教育学コース

学校、家庭、社会に存在する身体、心、脳、教育に関わる様々な事象を対象に基礎的研究や実践的研究を行い、例えば身体運動、睡眠、情動、発達などに関する基礎的メカニズムの解明、さらには心身の健康問題や教育応用に取り組めます。



**一柳 智紀** 准教授  
[いちやなぎ ともり]  
〈授業研究〉

教育実践に学びながら、授業、カリキュラムおよび  
教職専門性の開発を推進します。

教職開発コース

本コースでは、学校教育の高度化を達成する核ともいえる、授業、カリキュラムおよび教職専門性の開発を推進し、具体的な教育実践に基づきながら質の高い学習環境の創出と教職の専門的資質や能力の高度化を目指します。



**藤村 宣之** 教授  
[ふじむらの ぬぶき]  
〈数学・科学教育〉

これからの時代の各教科の授業や教科を越えた  
学習について実証的に探究します。

教育内容開発コース

これからの時代の各教科の授業やカリキュラム、教科を越えた学習などをどのように構築し実現するかについて、社会学、心理学、文学、言語学、比較研究等の理論や方法論にもとづきながら、国内外のフィールドで実証的に研究しています。



**村上 祐介** 教授  
[むらかみ ゆうすけ]  
〈教育政策研究〉

教育を動かすさまざまな「しくみ」を深く理解し、  
その在り方を考えます。

学校開発政策コース

学校教育の高度化を進めるうえで欠かせない教育行財政、法制度、経営、政策などに関する研究開発を行っています。教育の実践や現場を支えるガバナンスの実態を解明し、その課題や改善の在り方を探究します。

# あらゆる研究課題や興味に 全力で応えてくれる学びの場



東京大学教育学部では、どのような学びや経験が待っているのでしょうか。その魅力を熟知しているのは卒業した先輩たちです。2017年に卒業した堀菜保子さんを卒業生代表としてお招きし、勝野正章教育学部長が深くお伺いします。

インタビュー  
全文はこちら▶



勝野 正章 研究科長・  
[かつの まさあき] 学部長

堀 菜保子さん  
[ほり なほこ]

2017年教育実践・政策学コース卒業、NHK入局。「おはよう日本」キャスターの傍ら、人権に関する取材・番組制作に従事。2023年シンクタンク転職。2025年教育学研究科進学。

「多様な価値に触れた  
地方実習での学びは  
その後の人生の礎に」

**勝野 正章教授(以下、勝野)** 卒業生である堀さんに、東京大学教育学部での学びについて、またお仕事のことなどお伺いしたいと思います。まずは、教育学部を選んだ理由をお話してください。

**堀 菜保子さん(以下、堀)** 母が小学校の教員をしていたため、教育が身近にあったことはひとつ大きな理由です。私はずっと「優しい社会をつくる一助になりたい」と思っていますが、その社会をつくる上で礎になるのは教育だと、母の姿を通して感じていました。「優しい社会」の実現に少しでも近づける学びがしたいと、教育学部に進むことを決めました。

**勝野** 教育学部での学びで印象に残っている授業はありますか。

**堀** 社会教育学演習の授業で長野県飯田市に実習に行ったことは、とても印象に残っています。実習に参加したメンバーは出身

も経験も考え方も様々です。少人数のグループに分かれて民宿に泊まり地域の方もまじえて話したり、現地の高校生と交流したり、異なる感じ方を言語化したことは、自分の見えている世界を相対化する大切な経験になりました。

「増し続ける探究心を  
胸に抱き大学院へ  
共に学ぶ君へエール」

**勝野** 堀さんは、教育学部卒業後にアナウンサーとして入社したNHKで、障害やジェンダー、DV、LGBTQ+など、人権に関する番組づくりにも携われましたね。その後、転職したシンクタンクでも、「優しい社会づくり」につながる調査研究に従事されています。そして、来年度から大学院で研究を始められますが、具体的にどのような研究計画をお持ちですか？

**堀** 様々な人権の課題に対して、マジョリティ層の中で自分事として不公正を正そうと活動している人たちは、どのような学びからそう

した意識や行動がつくられてきたのかを研究したいと思っています。**勝野** なるほど。最後に、教育学部または大学院教育学研究科を志望しているみなさんに、メッセージをお願いします。

**堀** ここには、どんな研究課題や関心にも応えてくださる環境があります。教育学を学ぶことで、「だから自分はこういう考えなんだ、こう思っているんだ」という発見があるはずで、それを一人ひとりが認識することが、社会について深く考えることにつながると思っています。私もまだまだ知らないことばかりです。これからも学びたいと思っているので、教育のこと、つまりは社会の成り立ちについて、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。



# 教育学部

- 教育学コース P08
- 比較教育社会学コース P09
- 教育実践・政策学コース P10
- 教育心理学コース P11
- 身体教育学コース P12



教育学部

教育学部は、総合教育科学専攻のもとに教育学専修、教育社会科学専修、心身発達科学専修という3専修が置かれ、さらに教育学専修のもとに教育学コース、教育社会科学専修のもとに比較教育社会学コース、教育実践・政策学コース、心身発達科学専修のもとに教育心理学コース、身体教育学コースという形で5コースに分かれて編成されています。

それぞれのコースが、人文科学、社会学、心理学、生理学といった多様な分野に基づきつつ、主に学校を中心としつつも、保育園、博物館、図書館、NPO、医療施設など多様なフィールドをも対象とし、特色ある教育を行っています。

# 教育学コース

(旧:基礎教育学コース)



教育学コースは、教育研究の最も基礎的な部分を担当するコースです。「教育とは何か」「よい教育とは何か」「よき人・よき市民になるとはどういうことか」といった教育の最も根本的な問いに、哲学・歴史学・人間学・臨床哲学という四つの(広く「人文学的」と呼ばれる)方法でアプローチします。教育や人間のことをじっくり考えてみたい学生にうってつけのコースです。

詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目



当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

教育哲学概説(山名 淳・平石 晃樹)	臨床教育現象学演習(大塚 類)
教育人間学概説(片山 勝茂)	高等教育の歴史(隠岐 さや香)
日本教育史概説(渡邊 真之)	教育と真理(平石 晃樹)
教育哲学演習(山名 淳)	道徳と教育[基礎教育学特殊講義](平石 晃樹)
戦後教育史演習(小国 喜弘・森 和宏)	Comparative Philosophy of Education(藤井 翔太)
価値と教育Ⅱ(片山 勝茂)	

## ■ スタッフ紹介



山名 淳  
[やまな じゆん]  
教授(教育哲学)



隠岐 さや香  
[おぎ さやか]  
教授(西洋教育史)



大塚 類  
[おおつか るい]  
教授(教育臨床学)



片山 勝茂  
[かたやま かつしげ]  
准教授(教育人間学)



平石 晃樹  
[ひらいし こうき]  
准教授(教育哲学)

## ■ 卒業論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 「教育へのインクルージョン」に関する一考察  
—スウェーデンにおける学校の長期欠席の事例を手がかりに—
- 大島青松園におけるハンセン病回復者の語り  
—瀬戸内国際芸術祭を中心に—
- 学校におけるケアと自治  
—竹内常一の「班づくり」の構想—
- 高齢者が学び続ける意義を探究するための「哲学支援」  
—現役期からの役割変化を踏まえ—

## ■ 卒業生からのメッセージ

大学時代に経験した教育支援のボランティアで、教え子から「勉強は意味がない」と言われ、自分の価値観を問い直したくなったのが本コースを選んだ理由でした。常識を問い直すこと、わからなさを楽しむことを基本的な姿勢として学ぶ中で、自分の思い込みに気づき、「異なる他者と生きることは難しいけど、面白い」と信じられるようになりました。その信念は、今の私が生きるうえで大切な礎になっていると感じます。

内山 幸奈さん | 2020(令和2)年度学部卒業  
[うちやま ゆきな] | 楽天グループ株式会社

# 比較教育社会学コース



比較教育社会学コースでは、社会学を中心とする社会科学の理論と方法に基づいて、「社会現象、文化現象としての教育」を、多角的な視点から総合的に考察できる学生の育成を目指しています。必修の「教育社会学調査実習」は、テーマの設定からデータの収集、コンピュータによる分析まで、社会調査の全過程を実際に体験することができます。例年、五月祭では、その調査結果の発表が行なわれています。

詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。



教育社会学概論(中村 高康)	フィールドワークの理論と実践(額賀 美紗子)
高等教育概論(多喜 弘文)	比較社会学の方法(多喜 弘文)
比較教育学概論(額賀・北村・荻巣)	国際教育開発論(荻巣 崇世)
教育社会学調査実習 I (仁平・多喜・小原)	教育の計量社会科学(卯月 由佳)
教育社会学調査実習 II (仁平・多喜・小原)	教育調査分析法(藤原 翔)
教育社会学調査実習 III (仁平・多喜・小原)	教育社会学のためのデータ分析法(池田 岳大)
教育社会学調査実習 IV (仁平・多喜・小原)	生徒指導・進路指導(山本 宏樹)
比較教育社会学論文指導(全教員)	教育と社会(中村 知世)
比較教育社会学研究指導(全教員)	進路指導・生徒指導(鈴木 雅博)
日本社会の変容と課題(本田 由紀)	教育の歴史社会学(前田 麦穂)
教育社会学理論演習(本田 由紀)	

## ■ スタッフ紹介



本田 由紀  
【ほんだ ゆき】

教授(教育社会学)



中村 高康  
【なかむら たかやす】

教授(比較教育システム論)



仁平 典宏  
【にへい のりひろ】

教授(教育社会学)



額賀 美紗子  
【ぬかが みさこ】

教授(比較教育学)



多喜 弘文  
【たき ひろふみ】

准教授(高等教育論)



荻巣 崇世  
【おぎす たかよ】

准教授(比較教育学)

## ■ 卒業論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- Republican Elitism in Question: A Qualitative Study of Senior Civil Service Reform in France
- 家事紛争下における子どもの意見表明権の実質化に向けた質的研究  
— 家裁調査官・弁護士・子どもの手続代理人による実践の語りに基づいて—
- 私立中学校における入学者選抜方法の変容  
— 受験案内誌を用いた数量的分析—
- 在外教育施設の派遣教員のライフストーリー  
— 学校と家庭での葛藤と適応に注目して—
- 女子大学は女性をエンパワーしているか  
— 共学大卒女性と女子大卒女性の比較に基づく実証分析—

## ■ 卒業生からのメッセージ

大学を離れた今も、社会に対して柔軟な視座を持ちたいと思えるのは、「比教社」のおかげです。3年次には教育社会学概論や調査実習といった名物授業で学びを深め、4年次の卒業論文執筆の際には学外へ飛び出し、インタビュー調査などを行いました。生のデータを基に社会での文脈を模索した経験は難しくも、楽しかったです。先生方の温かいご指導や、同期や先輩・後輩と日々交わした熱い議論が、視野を広げてくれた2年間でした。

勅使河原 美紗さん | 2019(令和元)年度比較教育社会学コース卒。金融機関を退職後、現在は翻訳業を専門としています。  
【てしがわら みさ】

# 教育実践・政策学コース



本コースは、学校だけでなく、教育法や教育制度、博物館や図書館、さらには地域における市民の学びなど多様な「現場」と「制度・政策」との関係を通じて教育を捉えています。教育行財政学、学校教育学、社会教育学、図書館情報学分野の4分野で構成されており、それらの基礎的な知識を学びつつ、見学や調査も日常的に行っていきます。また、学芸員や司書、社会教育士などの資格科目も提供しています。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。



社会教育論Ⅰ(李 正連)	教育行財政学(勝野 正章、村上 祐介、橋野 晶寛)		
社会教育論Ⅱ(上田 孝典)	社会教育学演習Ⅲ(大高 研道)	教育行政・学校経営演習Ⅲ(勝野 正章)	
図書館情報経営論(河村 俊太郎)	情報・資料分析論演習(宮田 玲)	教育研究調査法演習(影浦 峽)	
教職論(浅井 幸子)	教育行政調査演習Ⅲ、Ⅳ(勝野 正章、村上 祐介、橋野 晶寛)		
教育方法論(藤江 康彦)	教育行政・学校経営演習Ⅳ(橋野 晶寛)	教育方法学演習Ⅰ(浅井 幸子)	
教育課程論(上野 正道)	社会教育学演習Ⅰ(李 正連)	社会教育学演習Ⅱ(新藤 浩伸)	
比較教育学概論(北村 友人)	博物館学特別研究(新藤 浩伸)	教育と言語処理(宮田 玲)	情報サービス論(齋藤 泰則)
学校教育学概論(北村 友人、高橋 和子、浅井 幸子)	講義をさく技術: MIT Linear Algebra (線形代数) MOOCS講義を通して(影浦 峽)		

## ■ スタッフ紹介



李 正連  
【いじょうまゆみ】  
教授(社会教育学)



新藤 浩伸  
【しんどう ひろのぶ】  
教授(生涯学習論)



影浦 峽  
【かげうら きょう】  
教授(図書館情報学)



河村 俊太郎  
【かわむら しゅんたろう】  
准教授(図書館情報学)



宮田 玲  
【みやた れい】  
講師(図書館情報学)



勝野 正章  
【かつの まさあき】  
教授(教育行政学)



村上 祐介  
【むらかみ ゆうすけ】  
教授(教育行政学)



橋野 晶寛  
【はしの あきひろ】  
准教授(教育行政学)



高橋 和子  
【たかはし かずこ】  
教授(言語教育)



北村 友人  
【きたむら ゆうと】  
教授(人文社会教育)



藤江 康彦  
【ふじえ やすひこ】  
教授(カリキュラム研究)



浅井 幸子  
【あさい さちこ】  
教授(カリキュラム研究)

## ■ 卒業論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 社会教育実践から問うジェンダー規範  
—子どもの居場所支援に着目して—
- 大学生たちの留学プログラムに対する向き合い方に関する研究  
—東京大学を事例として—
- 小学校・中学校における標準授業時数の増減を巡る政策過程分析  
—1998年・2003年・2008年学習指導要領改訂を比較して—
- 東井義雄の教育実践における戦前と戦後  
—『学童の臣民感覚』を中心に—
- 英文構造図の体系的整理と作図支援Webアプリケーションの開発

## ■ 卒業生からのメッセージ

点字を使用した学び、音楽を通じた国際交流から比較教育学を志した私にとって、本コースは憧れの場所でした。所属した北村友人研究室では、自身の関心と経験を学術的に結び、掘り下げる喜びを教わりました。また分野を超え、研究を深める手助けをしてくださった多くの方々へ感謝しております。この経験は今も、私が大切にに取り組む社会活動の礎となっています。皆さんがここでの学びを楽しみ、自らの力を存分に発揮する未来へと羽ばたけますように。

菅田 利佳さん  
【すがた りか】

2022(令和4)年度、学部卒業。外資系金融機関勤務の傍ら、ピアニストとして様々な社会的活動に励む。

## 総合教育科学専攻

# 教育心理学コース



心理学の手法と知見にもとづき、広い分野での応用・実践に取り組む研究者、心理技術者の養成を目指しています。大学院教育心理学コース、臨床心理学コース、教職開発コース、教育内容開発コースの教員が共同で教育にあたっており、教授・学習、発達、臨床、認知科学、情報科学と、人間理解の広い領域にわたる心理学の知識を身につけることが可能です。



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

教授・学習心理学概論 [教育・学校心理学] (一柳 智紀)	心理演習 (中島 由宇・能智 正博 他)
発達心理学 (遠藤 利彦)	心理実習 (大瀧 玲子 他)
教育心理学実験演習 I (全コース教員)	認知カウンセリング実践演習 II (植阪 友理)
教育心理学実験演習 II [心理学実験] (全コース教員)	心理学統計法 III (宇佐美 慧)
教育心理学実験演習 III [心理学実験] (全コース教員)	ことばの発達心理学 [学習・言語心理学] (針生 悦子)
教育心理学研究指導 (全コース教員)	認知カウンセリングの技法と応用 II (植阪 友理)
発達心理学演習 (針生 悦子)	公認心理師の職責 (大瀧 玲子 他)
教授・学習心理学演習 I (藤村 宣之)	教育心理 I (清河 幸子)

## ■ スタッフ紹介



遠藤 利彦  
【えんどう としひこ】  
教授 (発達心理学)



藤村 宣之  
【ふじむらのぶゆき】  
教授 (教授・学習心理学)



針生 悦子  
【はりゆう えつこ】  
教授 (発達心理学)



岡田 謙介  
【おかだ けんすけ】  
准教授 (教育情報科学)



清河 幸子  
【きよかわ さちこ】  
准教授 (教授・学習心理学)



宇佐美 慧  
【うさみ さとし】  
准教授 (教育情報科学)



一柳 智紀  
【いちやなぎ ともりの】  
准教授 (教授・学習心理学)



植阪 友理  
【うえさか ゆり】  
准教授 (教育認知科学)



能智 正博  
【のうち まさひろ】  
教授 (臨床心理カリキュラム論)



高橋 美保  
【たかはし みほ】  
教授 (臨床心理システム論)



滝沢 龍  
【たきざわりゅう】  
教授 (臨床心理カリキュラム論)



大瀧 玲子  
【おおたき れいこ】  
講師 (発達臨床心理学)

## ■ 卒業論文のテーマ 近年の論文題目一覧

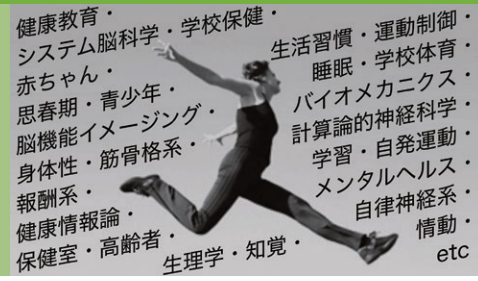
- 生成AIが提示した解決方略の検討を通じた高校生の概念的理解の深まり
- 幼少期のしつけ言葉が大学生の道德違反の回避に与える影響について
- 精神疾患に関する知識と自己・他者受容の交互作用が統合失調症へのステレオタイプに与える影響
- 協同問題解決における非貢献的な発言が問題解決過程に及ぼす影響
- ICT端末による共同編集機能がグループワークに及ぼす影響

## ■ 卒業生からのメッセージ

教育心理学コースでは、人間の頭や心について広く深く学ぶことができます。私は、親子関係やメンタルヘルスに興味があり進学しましたが、卒業論文のテーマを決める頃に学び方への関心が強まり、大きく方向転換しました。4年次から継続的に小学校へ足を運び、現在は大学院で低学力層の学びを支援するような研究を目指しています。多様な領域に触れ、その中で見つけた自分の関心を深く追究できる点が、本コースの魅力だと思います。

金森 なつきさん  
【かなもり なつき】 | 2023 (令和5) 年度学部卒業生  
2024 (令和6) 年度教育心理学コース修士課程1年

# 身体教育学コース



身体教育学コースは、1998（平成10）年、我が国で初めて誕生した「身体の教育」を主眼とするコースです。身体、心、脳、教育に関わる多様な研究を行っており、文科と理科のどちらからでも進学が可能です。講義、演習、実験・実習はいずれも10～30名程度のものが主体で、学生自身のプレゼンテーションや参画を積極的に組み込んだ形式となっています。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

### ◎講義題目[授業科目](担当教員)

身体教育学概論Ⅰ[身体教育学概論](野崎 大地・森田 賢治・山本 義春)	安全・安心教育[心身発達科学演習](東郷 史治)
身体教育学概論Ⅱ[身体教育学概論](多賀 徹太郎・東郷 史治・西田 淳志)	栄養学概論[心身発達科学特殊講義](高野 真梨子・東郷 史治)
身体教育学演習Ⅰ[身体教育学基礎演習](野崎 大地・東郷 史治・林 拓志)	脳科学特論[心身発達科学特殊講義](森田 賢治・Arvind Kumar・加藤 郁佳)
身体教育学演習Ⅱ[身体教育学基礎演習](野崎 大地・東郷 史治・林 拓志)	機能解剖学(人体の構造と機能及び疾病)[心身発達科学特殊講義](高桑 徹也・四津 有人・佐々木 麻起子)
身体教育学演習Ⅲ[身体教育学基礎演習](野崎 大地・東郷 史治・林 拓志)	身体教育学研究指導[身体教育学研究指導](全コース教員)
運動指導方法(夏季野外種目)[身体教育学基礎演習](野崎 大地・東郷 史治)	ダイバーシティ・インクルージョン概論[心身発達科学特殊講義] (星加 良司・野崎 大地・熊谷 晋一郎・近藤 武夫・東郷 史治・額賀 美紗子・能智 正博・大塚 類・飯野 由里子)
身体教育方法論[心身発達科学演習](上岡 洋晴)	心身の実践科学[教養学部前期課程総合科目]
バイオダイナミクス[心身発達科学演習](野崎 大地・森田 賢治)	保健体育科教育法(実践)C(青木 秀憲・上岡 洋晴)
教育の疫学入門[心身発達科学演習](東郷 史治・佐々木 司)	保健体育科教育法(実践)A(青木 秀憲)
教育の生理学[心身発達科学演習](山本 義春・内匠 透)	
心と脳の発達[心身発達科学演習](多賀 徹太郎)	



## ■ スタッフ紹介



多賀 徹太郎  
[たが けんたろう]  
教授(発達脳科学)



野崎 大地  
[のざき たいち]  
教授(身体教育学)



東郷 史治  
[とうごう しずお]  
教授(教育生理学)



森田 賢治  
[もり たけひろ]  
准教授(身体教育学)



岸 哲史  
[きし あきふみ]  
准教授(健康教育学)

## ■ 卒業論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 目標と背景の相対的な位置関係が運動適応の汎化に与える影響
- 昼寝後の睡眠慣性  
一 起立時の脳波、心拍、血圧の変化パターンに着目して一
- 指点字初心者のリハビリテーション及び  
ハビリテーションを想定した、最適な打点方法の検討
- モーションキャプチャによる動作判定や  
IT 技術を使った筋力トレーニング支援の提案
- 栄養表示が消費者の食品に対する認識と  
選択行動に与える影響に関する文献レビュー

## ■ 卒業生からのメッセージ

自分以外の世界に目を広げ課題を解決しようとするときに必要なものは「想像力」で、そしてそれは何かしらに没頭する経験で培われるのではないかと思います。想像力を持つ人が増えることでもっと世界は良くなると思います。経験豊富な先生方がいらっしゃる、充実した設備がある身体教育学コースは、身体に関わることは何でも、とことん追求できる環境です。きっと面白いです。当コースでの学びに没頭してみたいかがでしょうか。

田中 平祐さん  
[たなか へいすけ]

2024(令和6)年度3月身体教育学コース卒業

# 教育学研究科

- 教育学コース P14
- 比較教育社会学コース P15
- 生涯学習基盤経営コース P16
- 大学経営・政策コース P17
- 教育心理学コース P18
- 臨床心理学コース P19
- 身体教育学コース P20
- 教職開発コース P21
- 教育内容開発コース P22
- 学校開発政策コース P23

教育学研究科は、2つの専攻からなります。総合教育科学専攻は、教育にかかわる事象について高度の探究能力を有する研究者を養成するとともに、教育諸領域における高度の専門家を養成することを目的とし、3専修7コースで組織されています。

学校教育高度化専攻は、相互に強い関わりを持つ3コースで組織され、学校教育にかかわる実践的研究者を養成するとともに、教育実践および教育行政における高度の専門家を養成することを目的としています。なお、本専攻においては、本学の他研究科に所属したままで本専攻の課程を履修する「副専攻」制度を設けています。

# 教育学コース

(旧:基礎教育学コース)



教育学コースは、教育の最も根本的な問いに、哲学・歴史学・人間学・臨床哲学という四つの方法でアプローチします。各教員による演習と論文指導に加えて、コース全体の総合演習があり、全ての教員、院生から研究へのアドバイスを受けられます。また、年1号、院生の編集により研究室紀要を発刊し、東京大学学術機関リポジトリで公開しています。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目



当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

教育人間学基本演習	[ケアの倫理と教育]	(片山 勝茂)
教育哲学演習	[集会的記憶と教育の理論を探究する]	(山名 淳)
日本教育史演習	[戦後教育史を再検討する]	(小国 喜弘)
高等教育・研究の歴史	[高等教育・研究の歴史を問う]	(隠岐 さや香)
臨床現象学演習	[教育実践から考える]	(大塚 類)
教育倫理学演習	[教育と真理の関係を問い直す]	(平石 晃樹)

## ■ スタッフ紹介



山名 淳  
[やまな じゅん]  
教授(教育哲学)



隠岐 さや香  
[おき さやか]  
教授(西洋教育史)



大塚 類  
[おおつか るい]  
教授(教育臨床学)



片山 勝茂  
[かたやま かつしげ]  
准教授(教育人間学)



平石 晃樹  
[ひらいし こうき]  
准教授(教育哲学)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- マイケル・スロートにおけるケアの倫理と教育
- 青少年向け居場所施設における「場所」の経験  
—文京区青少年プラザb-labの現象学的分析—
- 埼玉県川口市立青木中学校における保健・健康  
—1950-60年代の教育実践に焦点をあてて—
- 「支援」を逸脱する援助実践の現象学的考察  
—路上生活者との関わりに根ざして—
- ジル・ドゥルーズ『差異と反復』における思考の発生  
—「道徳性の学習」から「思考の愚かさ」へ—
- 救済と複数性の平和教育の方へ  
—ジュディス・バトラーの『分かれ道』を手がかりに—

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 1960年代の現代子どもセンターにおける  
子ども研究の生成と展開
- 「保守」と「革命」を結ぶハンナ・アレントの教育理論  
—主権者教育批判への前哨—
- 自治活動の学校内化と教育課程化のプロセスをめぐる史的研究  
—「生徒会」成立過程を中心に—
- ロールズ主義的市民教育論の構築

# 比較教育社会学コース



比較教育社会学コースでは、社会学を中心とする社会科学の理論と方法に基づいて、「社会現象、文化現象としての教育」を、国際比較や異文化理解を含めた多角的な視点から、総合的に考察できる学生の育成を目指しています。通常の授業や論文執筆に加え、在学中の海外留学や学会参加などで多くの院生が視野を広げています。修了後は官公庁やシンクタンク、マスコミなど様々な業界に就職しているほか、博士課程に進学し研究者を目指すものも多いです。

詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

現代日本社会における教育・仕事・家族(本田 由紀)	教育社会学方法論研究(藤原 翔)
教育社会学の研究課題(本田 由紀)	障害の社会理論を読む(星加 良司)
教育社会学の古典を読む(中村 高康)	教育研究における量的調査設計(石田 賢示)
教育と選抜の諸問題(中村 高康)	関係論的社会学(石田 賢示)
市民社会・国家・教育(仁平 典宏)	教育社会学論文指導(本田/仁平/星加/加藤)
教育言説の社会学(仁平 典宏)	高等教育論論文指導(多喜 弘文)
質的方法論研究(額賀 美紗子)	比較教育システム論論文指導(中村 高康)
グローバリゼーションと教育(額賀 美紗子)	比較教育学論文指導(額賀/荻巣)
教育と不平等の社会学Ⅰ(多喜 弘文)	計量教育社会学論文指導(三輪/石田/余田)
教育と不平等の社会学Ⅱ(多喜 弘文)	Ethnicity, Nationalism and Education(高橋 史子)
比較教育学の理論と方法(荻巣 崇世)	越境する子どもと批判的質的研究(徳永 智子)
国際教育開発の研究課題(荻巣 崇世)	

## ■ スタッフ紹介



本田 由紀  
【ほんだ ゆき】

教授(教育社会学)



中村 高康  
【なかむら たかやす】

教授(比較教育システム論)



仁平 典宏  
【にへい のりひろ】

教授(教育社会学)



額賀 美紗子  
【ぬかが みさこ】

教授(比較教育学)



多喜 弘文  
【たき ひろふみ】

准教授(高等教育論)



荻巣 崇世  
【おぎす たかよ】

准教授(比較教育学)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 農福連携型就労支援における包摂モードの生成  
— 支援者の語りからみる生成要素の相互作用 —
- 中学校における選抜・配分過程に関する社会学的研究  
— 偏差値輪切り指導からの変化に着目して —
- 大学教育に職業的意義を感じるの誰か  
— 文系大学生を対象とした計量分析とインタビュー調査から —
- タイにおける無国籍生徒の市民権と進路形成  
— ミャンマー国境の職業専門学校を事例に —
- 日本におけるアジア出身のパラシュート・キッズに関する社会学的研究  
— 渡日経緯と高校生活に注目して —

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 子どもの生活時間と社会階層  
— その階層性と共通性 —
- トランスナショナルな空間における移民の社会的包摂  
— 在日ブラジル人によるエスニック・エンパワメント教育に着目して —
- 現代日本の貧困観における〈子どもの貧困〉への  
焦点化の意味に関する社会学的考察
- シンガポールにおける母親の教育役割と就労抑制に関する研究  
— ミドルクラス家庭へのインタビュー調査から —
- 性別職域分離構造下のジェンダー不平等

# 生涯学習基盤経営コース



本コースでは、学校教育の後・外で人が営む様々な活動を学習の視点から捉え、生涯にわたり人が営む学習活動とそれを支える組織・制度・環境・技術などの基盤について研究しています。主に社会教育や生涯学習の活動を扱う社会教育学・生涯学習論研究室と、図書館や情報媒体等を扱う図書館情報学研究室とからなり、両研究室が連携しつつ教育研究を進めています。

詳しくはこちら▼



詳しくはこちら▼



UT LISLab

## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

### ◎基本研究

生涯学習論基本研究Ⅱ(牧野 篤)

図書館情報学研究方法論(影浦 峯)

図書館情報学総合研究(影浦 峯)

### ◎特殊研究

生涯学習論特殊研究Ⅰ(新藤 浩伸)

生涯学習論特殊研究Ⅱ(李 正連)

プログラム評価論(安田 節之)

労働・職業と社会教育・生涯学習(池谷 美衣子)

図書館情報学理論研究(河村 俊太郎)

情報媒体構造論(宮田 玲)

学術コミュニケーション論(池内 有為)

読書バリアフリー論(野口 武悟)

### ◎論文指導

生涯学習論論文指導(李 正連、新藤 浩伸)

図書館情報学論文指導(影浦 峯、河村 俊太郎、宮田 玲、池内 有為)



## ■ スタッフ紹介



李 正連  
[い じょん りん]

教授(社会教育学)



新藤 浩伸  
[しんとう ひろのぶ]

教授(生涯学習論)



影浦 峯  
[かげうら たきよき]

教授(図書館情報学)



河村 俊太郎  
[かわむら しゅんたろう]

准教授(図書館情報学)



宮田 玲  
[みやた れい]

講師(図書館情報学)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 知識を伝える視覚表現を記述する枠組みの構築  
— 理科教科書の分析を通じて —
- 地域課題解決への住民参加と学習  
— 東京都板橋区の住民活動を事例として —
- 「大人リーナ」の語りを通じた「大人バレー」研究  
— D. ジョーンズおよびR. ステピンスの論を援用して —
- 異なる翻訳間の差異の記述に向けた研究  
— メタ言語の洗練と翻訳文書対の自動分割技術の開発 —
- 日本で就職した中国人元留学生の転職に関する一考察  
— 転職の要因とプロセスに着目して —
- 利用者ニーズの変遷からみた大学図書館における学習空間  
— 東京大学総合図書館別館ライブラリープラザを事例として —

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- メタ言語を活用する翻訳演習の構成と実証  
— 起点文書属性体系とイシュー分類体系を対象に —
- 1970年代以降の自治体教育改革における地域文化の組織化過程に関する研究  
— 鹿児島県奄美群島に注目して —
- スウェーデンのSocial Pedagogyと専門職に関する研究  
— 教育福祉論の視点から —
- 大学の属性を考慮した大学図書館蔵書の特徴の分析:  
所蔵図書の数と属性に着目して
- Research on Japanese Typefaces and Typeface Customization System Designed for Readers with Developmental Dyslexia (発達性ディスレシアに特化した和文書体と書体カスタマイズシステムの研究)
- 台湾「社区大学」の展開と特質  
— 市民受講者の実態調査から —

# 大学経営・政策コース



大学経営・政策に関わる先端的かつ実践的な教育と研究を推進しています。大学・高等教育機関の管理者、政策担当者、職員、学卒者を対象に、大学の経営、高等教育政策について理論的・実践的な教育を行い、大学・高等教育研究という新しい分野の研究者、将来のリーダーを育成する大学院です。実務者・社会人の学習環境に配慮し、土曜日を中心に講義・演習を行っています。

詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

### ◎基礎科目

高等教育論(阿曾沼 明裕)

大学経営論(両角 亜希子)

比較大学論(福留 東土)

大学経営政策演習(2)(阿曾沼 明裕、福留 東土、両角 亜希子)

大学経営政策研究(阿曾沼 明裕、福留 東土、両角 亜希子、日下田 岳史)

### ◎経営・政策各論

大学経営政策各論(3)(両角 亜希子、南部 広孝)

大学経営政策各論(4)(丸山 和昭)

大学経営事例研究(1)(両角 亜希子)

### ◎事例分析・実証分析

高等教育の計量分析入門(日下田 岳史)

高等教育の計量分析演習(日下田 岳史)

### ◎研究指導

大学経営政策論文指導  
(阿曾沼 明裕、福留 東土、両角 亜希子、日下田 岳史、南部 広孝、丸山 和昭)



## ■ スタッフ紹介



阿曾沼 明裕  
【あそぬま あきひろ】  
教授(大学政策論)



福留 東土  
【ふくとめ ひでと】  
教授(比較大学論)



両角 亜希子  
【もちづみ あきこ】  
教授(大学経営論)



日下田 岳史  
【ひげた たけし】  
准教授(大学経営論)

講義・演習の特別ゲストとして著名な研究者・学者および文部科学省幹部職員を迎えて、実践面での教育にも力を入れています。

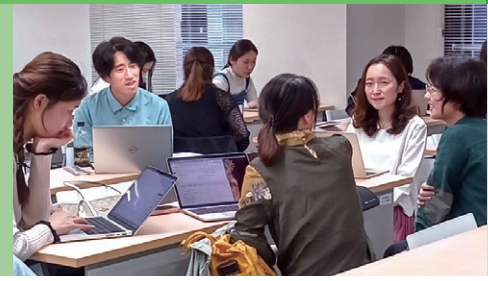
## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 若手研究者の「自由な発想に基づく研究」の現状とその背景  
—インタビュー調査から—
- 国立大学—法人複数大学制度の形成と導入プロセス  
—東海国立大学機構と奈良国立大学機構を事例として—
- 日本における女子大学の成立過程  
—新制大学創設前後の津田塾大学に着目して—
- 入学者選抜になぜ多様性が求められているのか  
—私立大学における実態とその背景—
- 大学におけるシェアドリーダースhipに関する研究  
—芝浦工業大学の国際化推進を題材に—

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 大学職員のプロアクティブ行動の先行要因に関する研究  
—大学業界の特性がもたらす影響に着目して—
- 中国における有力学科の形成による大学研究力向上  
—「双一流」採択校を対象に—
- 大学生の主体的学習態度の規定要因に関する考察
- Stratification of transnationally mobile academics:  
The case of Japanese-trained Chinese PhDs  
(国際流動研究者の階層化:博士課程で日本に留学した中国人研究者の事例)
- 日本における大学の公共性  
—概念整理から実証的研究へ—

# 教育心理学コース



所属教員の専門分野は、教授・学習心理学、発達心理学、教育認知科学、教育情報科学の4領域にわたっています。教授・学習心理学では学習とそれを支える指導を、発達心理学では感情や認知の発達を、教育認知科学では現実場面における学習や認知活動を、教育情報科学では学習をはじめとした人間のふるまいの測定・解析方法を扱います。これら幅広い視野と専門的手法を備えた研究者の育成を目指しています。



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

教授・学習過程の心理学Ⅰ(清河 幸子)	関係性と子どもの社会情緒的発達(遠藤 利彦)
感情と進化・文化(遠藤 利彦)	ことばと認知の発達Ⅱ(針生 悦子)
ことばと認知の発達Ⅰ(針生 悦子)	量的研究法(宇佐美 慧)
心理統計学演習(岡田 謙介)	心理統計学の近年の展開(宇佐美 慧)
心理統計学特論(岡田 謙介)	講演者の視点でみる心理学論文(植阪 友理)
査読者の視点でみる心理学論文(植阪 友理)	教育心理学論文指導(全コース教員)
教授・学習過程の心理学Ⅱ(清河 幸子)	

## ■ スタッフ紹介



遠藤 利彦  
[えんどう としひこ]  
教授(発達心理学)



針生 悦子  
[はりゅう えつこ]  
教授(発達心理学)



岡田 謙介  
[おかだ けんすけ]  
准教授(教育情報科学)



清河 幸子  
[きよかわ さちこ]  
准教授(教授・学習心理学)



宇佐美 慧  
[うさみ さとし]  
准教授(教育情報科学)



植阪 友理  
[うえさか ゆり]  
准教授(教育認知科学)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 課題の一部への着手の促しが先延ばしに及ぼす効果
- A Diagnostic Classification Model for Matching Format Tests
- 第二言語環境におかれた幼児の意味ネットワークの発達
- 保育者が捉える子どもの「主体性」  
ー心理学的観点からの考察ー
- 身体性を伴うイマジネーションは  
社会問題の認識にいかに関与するか

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- Instructing Deep Notetaking to Enhance Student's Learning: Exploration, Demonstration, and Application of Effective Notetaking From the Perspective of Cognitive Psychology (学びの向上のための深いノートテイキングの指導: 認知心理学から見た効果的なノートテイキングの探索、実証と応用)
- Beyond the Nuclear Family: Matrilineal Mosuo's Allomothering System and Child Social-Emotional Development (核家族を超えて: 母系モソ人のアロマザリングシステムと子どもの社会情動的発達)
- 自閉スペクトラムと共起する性別違和と広範な社会違和の質的検討  
ー当事者視点を受容する研究・実践を目指してー
- 幼児期における発話からの感情判断の発達
- 数学の授業における教科書活用が学習者の学習方略と学習成績に及ぼす影響  
ー授業と家庭学習を繋ぐツールとしての教科書の役割に着目してー



臨床心理学コースは、様々な心理・行動上の諸問題を個人の発達や社会的文脈に位置づけつつ、発達臨床心理学・臨床心理システム論・臨床心理カリキュラム論という教育研究分野の連携のもと、臨床心理学の実践の技法と実践に関わる研究の方法を学ぶ機会を提供します。カリキュラムは、公認心理師および臨床心理士の資格取得のための要件を満たしています。

詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

臨床心理基礎実習Ⅰ(高橋・大瀧)	臨床心理査定演習Ⅰ[心理的アセスメントに関する理論と実践](滝沢)
臨床心理基礎実習Ⅱ(高橋・大瀧)	臨床心理査定演習Ⅱ(滝沢・高橋・大瀧・中村)
臨床心理実習Ⅰ[心理実践実習](大瀧・高橋・能智・滝沢・日下・瀧井・林・中島)	臨床心理学研究法(能智・滝沢)
臨床心理実習Ⅱ(大瀧・高橋・能智・滝沢)	メンタルヘルスマネジメント基礎[産業・労働分野に関する理論と支援の展開](高橋)
臨床心理学特論Ⅰ(能智)	メンタルヘルスマネジメント応用[心の健康教育に関する理論と実践](林)
臨床心理学特論Ⅱ(高橋)	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開(大橋)
臨床心理面接特論Ⅰ[心理支援に関する理論と実践](高橋・日下・瀧井・林)	コミュニティアプローチ特論[家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践](大瀧・田中)
臨床心理面接特論Ⅱ(能智)	精神医学特論[保健医療分野に関する理論と支援の展開](滝沢)

## ■ スタッフ紹介



能智 正博  
【のうち まさひろ】

教授(臨床心理カリキュラム論)



高橋 美保  
【たかはし みほ】

教授(臨床心理システム論)



滝沢 龍  
【たきざわ りゅう】

教授(臨床心理カリキュラム論)



大瀧 玲子  
【おおたき れいこ】

専任講師(発達臨床心理学)

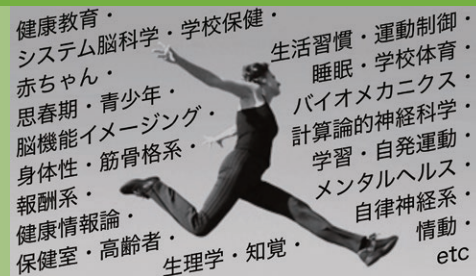
## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 小児期における家庭内外の逆境体験および保護的体験から形成される生涯を通じたWell-beingへのリスクとレジリエンスの検討
- 小児期における家庭内の逆境的出来事の捉えなおしーレジリエンスに資する体験の影響に注目してー
- カスタマーハラスメント被害体験が精神的健康に及ぼす影響ー小売・飲食業に従事する大学生アルバイトを対象としてー
- Impact of autistic traits on social functioning through mindfulness-based intervention: An app-based randomized controlled trial
- 関係性からみる心理職の職業発達ー同・他職種との関係性における困難を乗り越えるプロセスに着目してー
- ASD傾向者におけるアタッチメントに関する研究ー対人関係構築に着目してー

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 自閉スペクトラム症の描画表現に関する臨床心理学的研究: 自己理解と他者関係への影響に着目して
- 自傷行為者の内的世界: 青年期にある体験者の語りの分析から
- 強迫症の家族における「巻き込まれ」の研究: 共感性の肯定的・否定的側面に着目して
- 発達障害児の親の「認知的怒り制御」に関する研究: ICTによる感情制御支援に向けて
- 心理支援における通信形式の効果的な活用方法の検討: 支援の受けやすさに注目して
- 保護要因としての学校に関する研究: 不適切な養育を受けた子どもに有効な学校の機能に着目して

# 身体教育学コース



身体教育学コースは「教育生理学」、「発達脳科学」、「健康教育学」、「身体教育科学」の4つの研究分野から成り、密接な協力のもと、ヒトの身体、心、脳、教育に関わる様々な事象を対象に実験・調査や解析を行っています。大学院生は、指導教員と密に議論しながら、また他の教員から適宜アドバイスを受けながら、研究に取り組んでいます。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目

当コースのスタッフによる講義や演習には、次のようなものがあります。

◎講義題目[授業科目](担当教員)

身体教育科学の諸問題Ⅰ [身体教育科学基本研究] (野崎 大地)	予防科学で支える思春期のWell-Being [健康教育学特殊研究] (西田 淳志)
身体システム論Ⅰ [身体教育科学基本研究] (森田 賢治・山本 義春)	身体教育科学論文指導 [身体教育科学論文指導] (野崎 大地)
発達脳科学特論Ⅰ [発達脳科学基本研究] (多賀 巖太郎)	身体教育科学論文指導 [身体教育科学論文指導] (森田 賢治)
身体教育科学の諸問題Ⅱ [身体教育科学特殊研究] (野崎 大地)	教育生理学論文指導 [教育生理学論文指導] (山本 義春)
身体システム論Ⅱ [身体教育科学特殊研究] (森田 賢治・山本 義春)	教育生理学論文指導 [教育生理学論文指導] (東郷 史治)
発達脳科学特論Ⅱ [発達脳科学特殊研究] (多賀 巖太郎)	発達脳科学論文指導 [発達脳科学論文指導] (多賀 巖太郎)
教育生理学の諸問題Ⅰ [教育生理学基本研究] (東郷 史治)	健康教育学論文指導 [健康教育学論文指導] (岸 哲史)
教育生理学の諸問題Ⅱ [教育生理学特殊研究] (東郷 史治)	健康教育学論文指導 [健康教育学論文指導] (西田 淳志)



## ■ スタッフ紹介



多賀 巖太郎  
[たが けんたろう]  
教授 (発達脳科学)



野崎 大地  
[のざき だいち]  
教授 (身体教育科学)



東郷 史治  
[とうごう ふみはる]  
教授 (教育生理学)



森田 賢治  
[もりた けんじ]  
准教授 (身体教育科学)



岸 哲史  
[きし あきふみ]  
准教授 (健康教育学)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 脳画像解析を用いたヒト側坐核と内側前頭前皮質間を結ぶ白質線維束の構造特徴に関する研究
- 大学キャンパスの緑地に対する主観的評価と睡眠・ストレスの関連
- 中高生におけるSNS利用に伴う対比的上方比較—測定尺度の開発と精神的健康との関連—
- Associations between nighttime device use, sleep, and mental health in adolescents: Focusing on qualitative aspects of device use

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- Motor Control and Adaptation in a Redundant Bimanual Motor Task
- The Developmental Origin of Agency
- Effect of Prediction on Learning and Decision-Making
- Effect of the Number of Confidants on Adolescent Mental Health
- Deep Multimodal Analysis for Daily Mental Health Monitoring

# 学校教育高度化専攻 教職開発コース



授業の開発、カリキュラムの開発および教職専門性の開発の先端的研究と実践的研究を推進し、質の高い学習環境の創出と教職の専門的資質や能力の高度化を目指します。また、教師と協働して学校教育の改革を遂行するとともに大学などの高等教育機関において教師教育（現職教育を含む）を担う実践的研究者、幼児教育も含めた初等教育、中等教育段階の指導的教師を養成します。

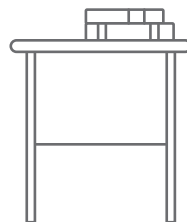
詳しくは  
こちら▼



## ■ 講義題目

当コースにおける講義や演習には、次のようなものがあります。

授業における学習研究(一柳 智紀)	カリキュラム研究論文指導(藤江 康彦)
教職経験の研究(浅井 幸子)	カリキュラム研究論文指導(浅井 幸子)
カリキュラムの事例研究(浅井 幸子)	保育学研究(野澤 祥子)
授業の事例研究(一柳 智紀)	イメージとモノの教育学:アートベース・リサーチの視点から(小松 佳代子)
授業の实地研究(浅井 幸子)	授業研究と授業分析(柴田 好章)
授業研究論文指導(一柳 智紀)	授業の談話分析と学習過程(山路 茜)



## ■ スタッフ紹介



藤江 康彦  
[ふじえ やすひこ]

教授(カリキュラム研究)



浅井 幸子  
[あさい さちこ]

教授(カリキュラム研究)



一柳 智紀  
[いちやなぎ ともひこ]

准教授(授業研究)

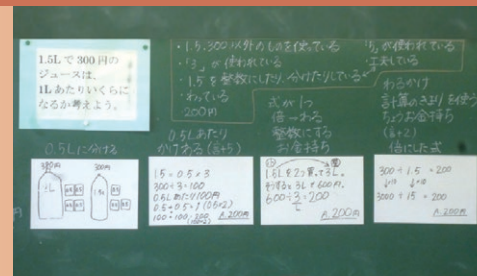
## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 数学の問題解決過程における学習規範の影響  
— 高等学校の図形領域を事例として —
- 問いの生成過程に関するニュー・マテリアリズム的分析  
— 小学校国語科物語授業におけるモノと発話と行為の関係に着目して —
- 授業における「意見」の共同生成過程  
— 小学4年社会科「玉川上水」を教材とする単元を事例として —
- 「親の参加」概念の形成に関する歴史的検討  
— Ada Gobettiの議論とレヅジョ・エミリアでの受容を中心に —
- 小学校図画工作科における他者やモノとの相互作用を通じた子どものアイデア生成過程  
— 小学4年児童による立体作品の制作過程を事例として —
- 高校英語授業で学習者が「言語自体の概念」を形成する過程

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 高校生の歴史授業の意味づけに関する研究  
— ワーチの「媒介された行為」に基づく検討 —
- 大正期から昭和初期における裁縫教育改革の歴史的研究
- 学校を中心とした教育の統合性を  
「周縁部」の混在性から捉え直す  
— 学校・地域間の連携活動を通じた包摂と教育の拡張に着目して —

# 教育内容開発コース



学校教育の高度化を実現する教育内容の理論研究と開発研究を推進し、教科教育に関連する実践的・基礎的研究を行う研究者や、各学校段階の指導的教師を養成します。各教科の授業やカリキュラム、教科を越えた学習などをどのように構築し実現するかについて、社会学、心理学、文学、言語学、比較研究などの理論や方法論にもとづきながら国内外のフィールドで実証的研究を進めています。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目

当コースにおける講義や演習には、次のようなものがあります。

数学的・科学的思考の発達と学習過程 (藤村 宣之)	教育内容開発論文指導 (藤村 宣之)
英語科教育の理論と実践 (高橋 和子)	グローバル教育論文指導 (小原 優貴)
Education in the Era of Globalization: Asian Contexts (北村 友人)	算数・理科教育における教授学習の心理学 (佐藤 誠子)
教科教育の心理学的事例研究 (藤村 宣之)	国語科教育の理論と実践 (濱田 秀行)
教科学習の事例研究 (北村 友人)	地球規模課題とESD (永田 佳之)
教科学習の実地研究 (高橋 和子)	芸術教育の「隠れたカリキュラム」 (西島 央)
言語教育論文指導 (高橋 和子)	教育制度の国際比較 (小原 優貴)
人文社会教育論文指導 (北村 友人)	Research Methods in Education (荒木 啓史)
芸術教育論文指導 (西島 央)	

## ■ スタッフ紹介



高橋 和子  
【たかはし かずこ】  
教授 (言語教育)



藤村 宣之  
【ふじむら のぶゆき】  
教授 (数学・科学教育)



北村 友人  
【きたむら ゆうと】  
教授 (人文社会教育)



## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

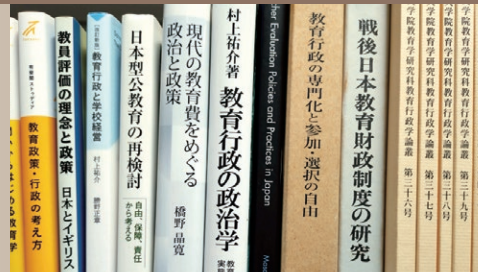
- バングラデシュにおける少数民族を対象とした多文化教育に関する研究  
— シレット地域の中等教育学校教員の意識に着目して—
- 小学校国語科における物語文の授業過程の心理学的検討  
— 児童の読みの深まりと再構造化のプロセスに着目して—
- インドの低額私立学校における教育の「質」に関する研究  
— デリーの教育支援団体の活動に着目して—
- 学校現場における「持続可能な開発のための教育 (ESD)」実践  
— 学習者の変容のためのアプローチ—
- 中学・高校生の「解析」に基づいた数学的問題解決過程に関する心理学的検討
- カタカナ語が高校生の英語語彙学習に及ぼす影響

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 東ティモールの教授言語問題の構造  
— 「母語を基礎とした多言語教育 (MTB-MLE)」モデルの受容に着目して—
- モンゴル国における幼児・学童期の教育と親の教育関与の関係
- 日本の英語教育政策をめぐる政治力学  
— 中央および地方における多元的政策過程の実証研究—
- 児童・生徒の数学的問題解決を方向づける文脈に関する研究  
— 学習観、多様な考えの比較検討方法、教科の文脈に着目して—
- 知的障害教育の場に転入した<グレーゾーン>の子どもの学校経験に関する研究—教師との相互行為に着目して—
- 他者と共に「物語」を読むという行為  
— 「焦点化」に着目した教室談話分析—

学校教育高度化専攻

# 学校開発政策コース



学校開発政策コースでは、学校教育の高度化を推進する教育政策、教育行財政システム、学校経営の理論的・実証的な研究を行うとともに、この領域の政策立案、行財政システム改革・経営・管理、政策評価等を遂行することのできる研究者と指導的な実務家・行政官（教育行政職員、学校管理職・指導主事等）を養成することを目的としています。

詳しくはこちら▼



## ■ 講義題目

当コースにおける講義や演習には、次のようなものがあります。

教育政策基礎論(村上 祐介・橋野 晶寛)
現代学校改革の諸問題(勝野 正章・Sam Bamkin)
教育政策研究方法論Ⅱ(橋野 晶寛)
教育行政事例研究Ⅱ(村上 祐介)
教育行政実地研究(村上 祐介)
教育政策実地研究(橋野 晶寛)
学校経営実地研究(勝野 正章)

学校経営研究論文指導(勝野 正章)
教育行政研究論文指導(村上 祐介)
教育政策研究論文指導(橋野 晶寛)
比較教育政策研究論文指導(Sam Bamkin)
ジェンダーと家族の政策過程分析(辻 由希)
学校経営実践の開発Ⅱ(仲田 康一)



## ■ スタッフ紹介



勝野 正章  
[かつの まさあき]  
教授(学校教育経営)



村上 祐介  
[むらかみ ゆうすけ]  
教授(教育政策研究)



橋野 晶寛  
[はしの あきひろ]  
准教授(教育政策研究)

## ■ 修士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 『関係の子どもの権利論』再考  
—メディア使用場面を事例として—
- 「チーム担任制」下における教員間コミュニケーションの内実
- 教育現場における子どもの権利の実効的保障に関する研究  
—子どもの権利教育に着目して—
- ボランティアの参入と学校の組織戦略に関する考察  
—境界担当者に着目して—
- 教育機会の分配規範に関する理論的・実証的研究
- 中国僻地における教員不足問題に関する研究  
—Teach For China参加者の動機分析—

## ■ 博士論文のテーマ 近年の論文題目一覧

- 国立大学法人運営費交付金の改革を巡る政策過程とその帰結に関する研究
- イギリスのスクールビジネスリーダーの専門職化に関する研究  
～日本の学校事務職員制度を参照枠組みとして～
- 教育公務員特例法の制定過程と日教組の運動
- 「最低限の義務教育」を保障する国家関与の研究  
—米国ホームスクール制度の諸相と構想—
- Enactment of Moral Education in Japan: Between State Policy and School Practice

# Facilities

関連施設紹介

教育学研究科・教育学部は、下記のような教育現場や先端研究拠点など様々な関連施設を擁しており、教育研究などの面においてこれらと連携をとっています。

## 教育学部附属中等教育学校

詳しくはこちら▶



「探究的な学び、協働的な学び」を通して  
「豊かな市民性」を醸成する中高一貫校

教員養成と教育研究の高度化の拠点的作用をもち、  
教育実習や授業観察・実地研究等のフィールド  
として学部生や大学院生を受け入れています。



## 心理教育相談室

詳しくはこちら▶



心理職や臨床心理学実践に基づく研究者を  
目指す大学院生の実践的学びの場

臨床心理学の専門的な教育訓練を受けている  
大学院生が教員の指導の下で、心理的問題を抱えた  
子どもや成人を対象に相談支援を行っています。



## バリアフリー教育開発研究センター

詳しくはこちら▶



バリアを打破し、インクルーシブ社会への  
道筋を創造する教育研究拠点

社会の「バリア(障壁)」を可視化し、多様な人で構成  
されるインクルーシブな学校・組織・社会の実現  
を目指し、教育研究活動をしています。



星加 良司 教授 [ほしかりょうじ]  
(社会学・障害学)

## 学校教育高度化・効果検証センター (CASEER)

詳しくはこちら▶



教育データを駆使した効果検証と、海外機関との  
連携に基づくグローバル展開を推進

CASEERは2017年度に設置され、現在は効果検証部門と  
教育高度化部門から成り、前者は探究学習などの効果  
検証、後者は海外機関との連携に取り組んでいます。



石黒 千晶 准教授 [いしくろちあき]  
(教育認知科学)

## 海洋教育センター

詳しくはこちら▶



海は伝えたい、人は学びたい、  
その二つを未来に繋ぐ教育の研究拠点

地球環境と人間文化の繋がりに関心を寄せる国内  
外の研究者や教育関係者等との連携を通じて、  
「海と水」を主題とした教育の研究を行います。



## 発達保育実践政策学センター (CEDEP)

詳しくはこちら▶



子どもの発達と保育・教育の実践・  
政策を研究・発信する共創型研究拠点

乳幼児期の保育・教育の実践や政策に関わる国内  
外の研究者、実践者、国・自治体等と連携し、多数  
の共同・共創型の研究を実施しています。



石井 悠 講師 [いしいゆう]  
〈発達心理学〉

詳しくはこちら▶



## 国際交流センター



国際交流と留学生の支援を促進し、  
研究科の教育・研究の国際化を支えます  
学生および教員の国際交流活動の支援、海外からの  
留学生や研究者が学術・研究活動に順調に取り  
組めるように様々なサポートを行っています。



詳しくはこちら▶



## 大学院教育学研究科・教育学部図書室



教育学を中心に関連分野の資料を  
幅広く収集・提供する専門図書室

主に教育学・哲学・心理学・社会学・身体諸科学・  
図書館情報学等の分野の資料を所蔵し、学内外の  
多くの方に利用されています。



詳しくはこちら▶



## 教育研究創発機構



新たな教育研究の誕生と発展を  
促すためのインキュベーション組織

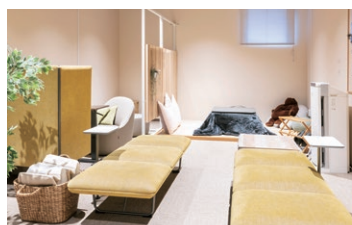
教育学研究科各研究センターのアンプレラ組織。  
既存の学問分野にとらわれず時代の要請に応える  
新しい研究や実践の創造を支援しています。



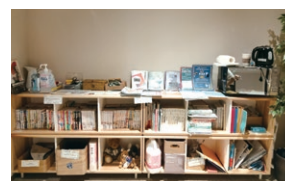
詳しくはこちら▶



## KYOSS (教育学部セイファースペース)



「みんなでゆるく」という理念で  
すべての人に開かれた場とコミュニティ  
学生が運営するコミュニティでは、様々なイベントを  
実施しています。赤門総合研究棟2階には、みんなが  
安心できる場であるKYOSSラウンジがあります。





東京大学大学院教育学研究科・教育学部  
広報・情報委員会

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1  
tel.03-5841-3904